



## 残暑お見舞い申し上げます。

暑い暑いと思っても、もうそこまで秋が来ている気配がします。

平成に代わる新元号が「令和」に決まり、日本が世界が調和され平和であつて欲しいとの願いが込められた令和の時代を5月から歩み始めました。

10月は第2回目のインドでの卓球大会があります。楽しいお知らせが出来ると幸いです。

今後とも皆様の御協力宜しくお願い致します。

## ☆招待

### ○白熱の親善試合

昨年10月、インドでの第1回卓球大会の優勝者男女各1名、コーチ2名、コーディネーター、現地駐在員のジャナキラム氏を招待し、5月23日(木)に海老名中学の体育館にて、卓球界ではかなり力のある、海老名のリトルキングスとの親善試合が行われました。

ゲーム前に市内のホテルレストランにて、会長夫妻と協会員数名が夕食を共にし、その席で当協会より、クロスボールペンと滞在中のおこづかいが贈呈され、彼らからは写真立てに収められた、インドでの卓球大会の写真が会長夫妻に手渡されました。

試合会場に到着すると、対戦相手の皆さんは練習を始めていて、体育館は活気がありました。

インド側の競技参加者は、当協会が贈ったお揃いのTシャツに着替えるのと、相手チームと共に舞台前に整列し、リトルキングスの指導者から挨拶と紹介が行われ、ゲームが始まりました。

ダッタアビナーシュ君(14才)の初戦相手は高校2年の男子でした、試合開始と同時に勢いと緊張感のある試合展開となり、応援する私達の手にも力が入りました。

サンユックさん(13才)の相手は小学校5年生の女子でしたが、こちらも男子顔負けの集中力と力のある試合でした。



インド招待者と当協会の皆さん

相手の女の子は卓球歴一年にも関わらず全国大会に出場した力のもち主で、能力が高く、おもしろい選手になると期待されているそうです。その後も水分補給程度の休憩しかとらず、次々と対戦相手を変えてゲームを続け、その間3時間近い時間が経過しましたが、疲れも見せず最後までゲームを楽しんでいました。

全ての試合を終えたダッタアビナーシュ君に感想を尋ねると、「とても強く、自分ももっと練習をしたいと思った」との事。又、サンユックさんは「自分のレベルに近かったので、楽しくゲームが出来た」と答えてくれました。共に笑顔で満足した表情がとても印象的でした。



インド招待者と海老名リトルキングスの皆さん



## 和光同塵

苦しむ人に無心に手を差しのべる

## ○ディズニールランドへ

5月25日(土) インドからの卓球優勝者に同行された14名の方々と共に、妹と一緒に参加させていただきました。当日開園時間8時ですが、皆さんの都合で9時過ぎに入園するともうすごい人！いつものように二手に分かれて皆さんはカリブの海賊へ。私は、スプラッシュ・マウンテン(ジェットコースター)のファストパスを取りに。残念なことこの日、スプラッシュ・マウンテンは休止。急いでビックサンダー・マウンテンのファストパスを取りました。いつもならそんなに待たずに乗れるのに12時からの予約でビックリ。12時までの時間を考えながら、合流してジャングルクルーズへ。本物そっくりの動物型ロボットのリアルな動きや滝裏での水しぶきにスマホを片手に歓声を挙げてました。

ミッキーのフィルハーマジックで、3D眼鏡をかけて3D体験。飛び出す映像を捕まえようと手を伸ばしたり、水しぶきに声をあげて笑ってました。30分待てば乗れるアリスのティーパーティーやキャッスルカルーセルに乗りたいたいグループと乗りたくないグループ、スペース・マウンテンのファストパスの予約と空いてるアトラクション探しの私と3つに分かれ行動しました。

予約時間になったので、8人はビックサンダー・マウンテンへ。乗らないグループは30分待ちで入れるステッチ・エンカウンターで座って映像を見

ました。

ビックサンダー・マウンテンはとても楽しかったようで、記念写真を撮ったり、次またジェットコースターに乗れるのか何度も聞かれたそうです。

2つのグループが同じ時刻に終わったので13時すぎに、昼食。ベジタリアン用のカレーを注文するも、テーブルの空きは無く、レストラン脇の花壇の淵やレジャーシートに座って食べました。食べ終わった直後、14時からのパレードがレストランの前を通過。ここでも見たい人と見ない人2手に分かれて見学。凄い人ばかりで後ろからでしたが、スマホを片手にもう一方の手を振り、歓声を挙げていました。

スペース・マウンテンの予約は16時からなので一人以外は50分待ちのスペースワールドへ。立って待っている間、妹が「地震」と言うも、揺れに気づかずにいると「今、地震がありました。この建物は地震に対応して安心です」とのアナウンス。地震警報は鳴らず。スマホのニュースで「**千葉で15時20分震度5の地震発生**」との知らせが、すると「地震発生により安全点検の為、全てのアトラクションを停止して確認します。場内から出てください。再開はいつになるか分かりません」とのアナウンスが流れました。再開を待つことをやめて、買い物をして成田に向かうことにしました。朝、19時に予約した成田行きのバスをキャンセルして、16時22分発の電車で舞浜を跡にしました。



ディズニールランドにて



廻れ廻れメリーゴーランド

楽しみにしていたディズニールランドが土曜日の人の多さや入園時間の遅さ、多くのアトラクションの休止で、6個のアトラクションしか乗れなかったこととがとても残念でした。

舞浜から東松戸、東松戸発「成田スカイアクセス特急」が地震の影響なくスムーズに乗れたことに感謝します。

## ☆ 東日本大震災支援

### ○Hちゃんへの

#### お誕生日プレゼント

Hちゃんは、ゲームを希望していましたが、お婆様はゲームをさせたくないとの事で、商品券とゼリーとマドレーヌのセット、手作りのバースデーカードに皆でメッセージを添えて送らせていただきました。

10歳になったHちゃんの将来を考えると、習い事をさせていて、お婆様は、送迎を少しでも長く出来るようにと、カーブスに通って筋肉を落とさないように努力しているそうです。今、出来ることを一生懸命に取り組んでいらっしやるお姿に感銘を受けました。



手作りのバースデーカード



## シヤネルの気力に感動

先日テレビでファッション界のシヤネルの生涯を紹介していました。男性に媚びるような生き方を廃止しようとして努力し、現在の女性服の基礎を作り世界に名立たるファッションブランドを一代で築き上げたデザイナーであり、4000人の従業員を抱える企業の社長さんでもありました。戦争を機に56歳で一度は完全に仕事から引退してしまうのですが、感動したのはこの後の彼女の生き方です。70歳の時、その当時のファッションに疑問を抱き、70歳という年齢をかえりみず委縮することもなく一念発起しパリに戻り仕事に復帰しました。カムバックショーにかかる迫力にモデルたちは圧倒されるほどだったといえます。そして15年ぶりのファッションショーはフランスのメディアからは酷評されますが、アメリカでは時代を超えて色あせないエレガントなファッションとして賞賛され、最も影響力のあるデザイナーとして賞を受けます。15年の時を経てシヤネルの人気は世界を席卷、ファッション界の女王として返り咲きます。そして87歳まで現役で仕事をします。このパワーと気力はどこから来るのでしょうか。“女性が自分らしく振舞える服を作ること・・・” “唯一の誇りは私の服を着た女性は美しかったことよ” というシヤネルの言葉がありました。シヤネルは貧しい家に育ち17歳から一人で生きていかななくてはならなかったそうです、その生い立ちの中で、男性に媚びるような生き方を廃止しようと努力し、女性が自由に自分らしく働き、振舞えるファッションを作りたいという強い思い、使命感があったからかなと思えました。近頃歳で腰が痛いとか膝が痛くてとか、ぼやいてばかりの私でしたが、この番組を見て自分が情けなくなりました。自分を甘やかさないで、目標や目的を忘れないようにしたいです。

## お知らせ

### 佐藤瑞玲シャンソンリサイタル

11月15日(金) 三越劇場 開場 14時30分 開演 15時

※前売り券 4500円 当協会までお申し込み下さい。

- “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。
- 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
記号 10290 口座番号 68107191
- ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル  
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
- 三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会  
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

## ☆支える会より

○つくし野神社の夏祭り  
8月24日(土)

ミニ四駆やガンダムプラモデルが当たる300円のくじが人気で2百個が早々完売。ミニ四駆が当たるとガッツポーズで笑顔。女の子のデイズニーくじ百個、スイーツデコ手作り体験やストラップやアクセサリーなど、女の子の好きそうなものを用意。友達と一つ一つ手に取り悩んでお揃いを選んで嬉しそうに会計をする女の子。

子ども達の笑顔が溢れるこのひと時に、「この笑顔がいつまでも続く平和な日々が続きますように」と、願わずにはいられませんでした。

○今後のバザーの予定

10月5日(日)

町田福祉園みのり祭

10月27日(日)

町田第5小学校子ども祭り

## ☆編集後記

「黒堀に

ひと雨もらい

萩こぼる」



歴史を感じるそのお宅の前を通るたび、その風情に心奪われます。

(M・S)